

## グローバルリーダー育成海外短期研修事業【郷土芸能部門】派遣決定

11月2日、県教育委員会より平成28年度グローバル・リーダー育成短期研修事業「沖縄県高校生芸術文化国際交流プログラム【郷土芸能部門】」派遣選考結果が届きました。

見事、第一次選考会で推薦された41名のうち、玉城舞子さん(2-5)が来年2月のシンガポールへの派遣(20名中)を手に入れました。

玉城さんのコメントです。

「二次選考会での面接が全然できなくて、もうダメだと思っていました。でも、実技は必死にやろうと思い挑みました。通知を見たとき『合』と書かれていて涙が出るくらい嬉しかった。このプログラムを通して海外の文化をたくさん吸収し、沖縄に帰ったときに、みんなに広められるようなリーダーになれるよう、自分らしく頑張っていきたいです」とありました。

玉城さんは4歳から琉舞を始めて、中学校3年生で沖縄タイムス新人賞を受賞した実力派で、現在はバレー部に所属しながら琉舞もさらに上位の優秀賞獲得を目指す頑張り屋です。

本プログラムは、グローバルな視点を持った世界で主体的に活躍できるリーダーを育成する基礎作りを図るために、県教育庁文化財課が実施するものです。選考された生徒達は、11月26日の結団式を皮切りに来年1月29日まで、事前研修や稽古などの学習や訓練が待っています。沖縄県の代表としてG高の誇りを胸に頑張りたいものです。

「琉舞をやっていて嬉しかったことは何？」と質問すると「今回のプログラムに選ばれたことです！！」ときっぱり。きらきら輝く瞳と、はきはきした受け答えが印象的な礼儀のしっかりした生徒です。



※ G高から、同プログラムに合計4名(書道1名【台湾】、美術・工芸2名【オーストラリア】、郷土芸能1名【シンガポール】)の派遣が決定したことになります。